

太宰府市短歌ポス下第百十五期入選歌

(令和四年八月二十五日)

選者 大久保富士子

緋袴に白装束の神子の艶 神主落とす青梅拾ふ

福岡市 前原善文

拾い来しもみじ種より若葉伸ぶ 宰府へ飛ぶや梅のごとくに

福岡市 富島京子

おがらなく天満宮の里に住み賜る幸を安けく思ふ

朝倉市 井上義昭

君と来る天満宮に願をかけ幸せ皆に訪ねるかな

久留米市 野口京美

おみくしと浴衣は同じ水色でゆたかし溶かす君の横顔

愛知県 斎藤美

小中学生の部

友誘い北斎展を見学に因博の窓深緑に映ゆ

太宰府市 瀧田智美